

学校法人 松浦学園 城北高等学校

2019年度 教育目標

建学の精神 『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- 1 「わかる授業」の追求と実践から「生徒が自主的に学び湧く授業」へ。授業の質を向上させるための教科内における研修と研究を積み、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ姿勢」「学ぶ習慣」をつくる教育の実践。すみれ文庫を活用した教育活動と教科指導の工夫。
⇒授業研究と公開授業の実施。アクティブラーニング、チーム課題解決型学習等、工夫と創造した教材研究と授業の展開。教科内職員の連携・協力体制の確立。希望手帳の有効活用。
 知ること、学ぶことの楽しさを味わわせ、主体的・対話的で深い学びの実践から
 「思考力」「判断力」「表現力」「読解力」「創造力」の向上へ
- 2 「心を磨き育てる教育」の確立。生活指導を基盤に「自分のことより先ず人のことを思え」城北スピリッツの育成。強い心、美しい心をつくる教育の実践。また、すべての教育活動の中で人権感覚を磨く教育を展開し、あらゆる差別を許さない教育の実践。
⇒自らを高める授業への取り組み指導、心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育、希望手帳活用の徹底
 いじめをしない、させない、許さない教育の実践。(クラス、授業、部活動等連携指導)
- 3 「計画的かつ系統的な進路指導」の確立。個々の生徒の進路希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育の実践。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの系統的かつ具体化した指導の実践。
⇒希望塾の充実強化、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、希望手帳の活用
 思考力・判断力・表現力を意識した小論文指導と面接指導。
- 4 「効果的かつ充実した学校教育活動と学校行事」の精選と実践。生徒がより主体的に活動し、輝く教育活動が実践できるよう各種学校行事等の検討と内容改善を図る。
⇒学校行事、各校務部行事、学科コース、生徒会行事の精選と内容充実活動の実施。(体育大会、オープンキャンパス、学園祭、プレゼンフェスタ、山鹿学、地域活性化プロジェクト等総合的な探究の時間活用等の計画、内容充実と実践。

3 令和元年度 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 30
大項目	小項目					
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育を実践する	建学の精神に則り、学校教育を展開していく。目の前にいる生徒を満足させる教育活動を実践する。	3	生徒の満足度が上がってきて笑顔の多い学校生活となっている。全員意識できてきている。クラス運営では生徒理解に努めた。目標を具現化できなかった。	3
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学校、学科、コースの特色、生徒一人ひとりの個性を生かした教育活動を展開する	学科・コースの特色の明確化を図る。個々の生徒の可能性を引き出し、学科・コースの実績を高める教育活動を実践していく	3	県内外とも就職率が良い。各学科頑張っている。生徒間格差が大きくその差を埋めるのが難しい。組織的にできなかった。	3
	開かれた学校づくり	ホームページや学校新聞、広報誌等で情報発信し、説明責任、学校理解を図る	ホームページや学校新聞の更なる充実を図るための工夫を行い、生徒の活動、頑張りを発信する	2.8	HPで学校案内ができています。HPをもっと充実させる必要がある。ホームページ更新し、マメにされている。HPの活用反省点が。専攻科も巡回した。	2.8
	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携、生徒・職員による地域貢献を図る	地域、PTA間の連携を図り、各種地域活動行事、学校行事、ボランティアへの生徒・職員・保護者の積極的参加と成功を図る	3	生徒・職員によるボランティア奉仕作業を毎年行っている。10年前にまいた種が実を結び始めた。地域行事への参加という形ではできていた。よりボランティア活動を活発にしたい。	3
	教育環境の整備	施設設備の充実及び、危険箇所等の早期発見、早期対応を図る	教室・体育館等の充実、耐震補強を進める。改善(老朽化設備の点検・修理等)を進める。	2.8	校舎は新しくなった。寮が課題。すみれ文庫の創設など充実してきている。職員室のPC整備(増)。修理の早めの対応はできた。	2.6
学力向上	わかる授業の実践	常に学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上を図る	研修、公開授業等で教師間の指導力の向上を図り、振り返りシート等を使い自らの授業を常に研究、改善する	2.6	教材研究時間確保が課題。生徒間格差を埋めるのが不十分。振り返りシート活用に反省が。個別対応の指導まで手が届いていない。工夫が必要。指導力向上が必要。	2.7
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画の達成	各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、全ての生徒の学力向上を目指した授業を展開する	2.7	時数確保に課題がある。生徒間格差を埋めるのが不十分。スポーツ科学コースの見直し。能力と成長に合わせた授業が展開できた。	2.6
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向け、家庭学習の習慣化を図り、生徒の状況を把握し、適切な学習指導を実施する	生徒の課題学習状況の把握と、授業、課外、マナトシ、一步学習の取り組み強化と成果を図る	2.3	基礎学力定着へ向けた指導に課題。生徒間格差を埋めるのが不十分。学力の差が大きく、個別対応が不十分であった。家庭学習習慣化指導の強化が必要。希望手帳活用した計画を。	2.3
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	自ら判断し行動する生徒を育成する	生徒が自ら考え行動を促す情操教育の実施と黙想、論語教育等による心の教育を図る	2.9	自ら判断できる生徒が増えてきた。毎朝の黙想・論語しっかり取り組めた。	2.8
	基本的生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底と生徒自らが取り組む心の掃除の徹底	登校指導、ホームルーム指導、職員間の指導の連携を図り、統一した指導で徹底を図る	2.7	自ら判断できる生徒が増えてきた。挨拶はほとんどの生徒ができています。掃除は無言に課題が。専攻科学生の挨拶指導課題。	2.8
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す	問題の早期発見と素早い対応を行い、特にいじめ問題についてはアンケート調査等により実態を早期に把握し対応する	3	ほぼできています。少数の生徒の指導をどうしていくか。問題に対応できていると思うが、表面上に出てきている。いじめのない、許さない学校になってきている。気になることもあった。	2.9
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールへの遵守を図り、交通事故、違反をなくす	交通安全教育を徹底する(交通講話、実技指導等)自転車、二輪車通学生生については特に安全教育を強化する	2.8	問題があれば直ぐに対応している。交通事故は発生している。バイク事故が今年もあった。継続的な指導が必要。	2.9
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	進路に関する計画的な指導と支援、充実を図る	学年との連携強化を図り、生徒の意識を高め、学習意欲向上や計画的学習につなげ、進路に関する意識向上を図る	2.9	各科の特色にあった進路選択がほぼ出来てきている。一人ひとりに合わせた進路を考える機会を多くつけた。ガイダンスについて生徒の刺激になった。	2.8
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的な計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.7	担当が変わった時が課題。学力保障は難しい課題。おおむね達成できている。個別指導もできた。担任と進路担当の連携が良くなるようにしたい。	2.7
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的な計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び職業適性結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.8	生徒個人の意識高揚を図る取り組みに課題。結果を見てもおおむね達成している。保護者とも話を意識してできた。	2.8
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実と各種研修会への参加	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会等への積極的参加	3	今年度は一人1回研修参加が良かった。もった外に出る(研修)が必要。研修で理解を深めることができた。	3
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る	教育内容と指導の工夫・改善を検討し、学校全体、学年、クラスにおいて計画的に人権教育を実施する	2.8	人権便りの活用ができています。計画的な外部からの講演を。研修での学びを生かせるようしている。	2.9
特別活動	適切な学校行事の実施と充実	意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る	計画的かつ効果的な学校行事運営・内容を検討、確立し、更に充実させる	2.7	一体感のある行事運営ができています。行事で生徒は成長している。行事が増え続けている。まだまだ行事減らしてよい。	2.9
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動の確立	生徒会・委員会の運営、役割を整理し、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織を充実させる	3.1	生徒会が中心となり主体的にできています。生徒会は負担が大きいが頑張っている。本来やるべきことが疎かになっている。	3
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の更なる活性化と向上を図る	全国レベルへ向けて、人間形成の基盤となりうる部活動へ向けて、更なる活性化を図る	2.6	健全な部活動ができていますが、全国レベルへ向け活性化が必要。強化部以外の部活が課題。部活内でのトラブルも多く、人間形成の面で十分でない。	2.6
その他全体的に成果と課題		教科における先進校視察を計画したい。アクティブラーニングに課題があった。地域活性化プロジェクトのスタートとなり実践が出来てきている。HPリニューアル呼びかけ。公開授業で学び合えた。生徒会の自主性が良い。部活動と課外の両立に課題が。部活動の更新を怠っていたのが反省。授業を見直し、主体的に学ぶ授業にしたい。人権教育についてクラスへの啓発が課題であった。城北サロン良い企画だった。教育課程について議論が必要。PTA行事への職員の参加。				

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 30
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	総務部	本校教育活動を中心に情報の発信を行い、生徒募集へと繋げる	オープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる	3.4	OCが高校選択のきっかけとなっている。OCは素晴らしいが生徒の負担が、年々中学校へ伝わっている。	3.5
			学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に発信する	3.2	ポスター・HPIによって本校を知ってもらっている。よくやっている。学校新聞をより充実させたい。専攻科の資料も作成し配布できた。	3.3
		適切な入学試験の実施	願書配布、入学試験、合格発表までの流れを的確に行う	3.3	各担当に分かれきちんとできている。全職員でやっている。的確である。	3.2
			入学試験全般における課題の改善を図る	3.2	中学校訪問の改善を。確認が良くできている。	3.2
		PTA活動の活性化	PTA活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	3	PTA役員の意識は高い。PTAは総務というより全部関わって行くことが活性化につながるのでは。	2.8
		同窓会活動の活性化	同窓会活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.7	活性化が課題。活動が見えたとさらに良い。	2.4
		効果的な環境美化の実施	具体的な環境美化計画、心の掃除、大掃除を実施し、より効果的かつ情操教育へと繋げる	3.1	構内の花壇や心の掃除良くできている。掃除に対する意識は高まっている。	2.8
		総務部活動全体について成果と課題	来年度はOCを1回にして1000人募集で盛り上げる。少子化の中で一層の具体案が必要になってくる。全体的に活発かつ熱心に取り組んでいる。少子化の中学生確保ができている。専攻科も例年にならぬ生徒募集の活動を行った。職員・生徒一丸となった生徒募集や心の掃除ができている。240確保のための具体的戦略も必要では。(定員の見直し、無償化)OCを2回行うことは是非。参加生徒の負担軽減策検討必要。掃除に対する取り組みにクラス格差がある。			
	教務部	効果的な学校行事の実施と授業時数の確保を図る	学力保障のための授業時数の確保、自習時間の減少を図る	2.9	時数確保が課題。	2.9
			目的を明確化し、より効果的かつ充実した学校行事の実施	3	行事精選が必要。	2.8
			効果的かつ適切な時間割の実施	2.8	特別時間割を減らすことが必要。	2.8
		わかる授業の実施、基礎学力定着への取組み強化	よりわかる授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業の実施	2.8	教材研究時間確保が課題。授業改善への意識を全職員で高めていく。	2.7
			研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る	2.7	研究授業年2回各課でやっているが、より効果的なものにするために。	2.4
			教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図る教科会等の実施	2.8	水曜日の朝会の教科会は貴重。	2.5
			振り返りシートの効果的活用	2.4	やること、それを活用することが課題。	2.5
		職員の指導力向上、意識の向上を図り、ベクトルを揃える職員研修の充実	校外外における効果的かつ計画的な職員研修会の実施	2.9	研修はできている。研修は為になっているが、ベクトルが揃っているか疑問。	2.7
		多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施	生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用を行う	3	奨学金担当者の負担大。	2.9
		教務部活動全体について成果と課題	授業時数の確保が難しく補講が半分から3分の1になることが多い。空き時間が少なく、授業準備に課題がある。学校がしっかり回っている。成果が出ている。各始業式後の授業で時数確保を。定期考査を見直し、各月に到達度を図るなど検討しては。特別時間割担当の先生方のご苦労のおかげで適切な時間割であった。			
	生徒指導部	基本的生活習慣の確立	挨拶(立ち止まる、体を向けて、校門一礼等)、指導、服装指導の徹底	2.8	指導できている。教員も自ら実施を。	3.1
			心の掃除の徹底	2.7	私語せずまじめに行っている。教員も自ら実践を。無言が課題。	2.8
			欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導	3	指導できている。	3.1
		問題行動をなくし、特別指導において自主性と規範意識の構築を図る	校則や社会的マナー、ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施	2.8	ほとんどの生徒ができている。部活動を引退した3年生の指導が課題。	3.1
			規範意識と自主性・意識向上のための特別指導の実施	2.9	生徒の自主性がある。生徒指導部頑張っている。	3
		いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る	城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる	3	人を敬う心が育っている。人格を認め合っており、生徒も楽しそうに生活している。	2.9
		生徒指導部活動全体について成果と課題	個々の生徒たちの問題行動はあるが、学校全体としては問題行動やいじめを許さない学校への意識が変わってきている。全体的に生徒指導にゆとり感がある。盾割り多い。いつも早急な対応ができている。1年スポーツ科学コースへの指導が課題。評価としては低いところもあるが、全体的には、生徒指導部としては達成できている。他校からの評価も高くなってきており、生徒指導部の評価と考える。服装再検査やチェックカード検査をしている生徒指導部の職員が少ない。			

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 30
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	人権教育部	豊かな人権感覚を身につけた生徒を育成する	学校全体、学年、クラスにおいて計画的かつ効果的な人権教育の実施	2.8	人権便りをもっと活用する。取り組みにクラス間格差が。	3.1
		職員の人権意識の高揚を図る	校内外研修会の計画的な実施と参加	2.8	来年度は一人2回。夏休みのレボ研全職員参加ではなかった。	3.1
		人権教育部活動全体について成果と課題	職員が外部に出て肌で感じた研修を生徒に伝える研修が大事である。人権新聞がとても良い。係として生徒向けが実施できなかったため時期の再検討を行う。生徒会担当の先生の負担が気になる。よく動いてくれているが生徒も先生も少し疲弊している。各部研修会は内容も豊かで充実した時間を持てた。研修の内容はもう少し練る必要があるのでは。人権だよりの内容が良い。			
	教育支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援	特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	2.9	共有できている。会議を頻繁に行い情報交換できていた。	3.2
		生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり	教職員への研修、情報の共有等におけるバックアップ体制と組織の確立	2.9	ためになる研修が多い。お互いのバックアップに課題が。	3
		教育支援部活動全体について成果と課題	部での試みはすばらしい。各種専門家からの研修も増やしては。教師の生徒への気づきが多く寄せられそれに伴う教育相談数も昨年に比べ大きく上回る回数で実施できた。反面フェイスシートによる生徒支援が少なく、具体的支援の方向性が確立していない生徒への手立てに苦労している現状がある。教育支援会議が週1回時間割に組まれるが出席者が少ない。他業務、生徒対応が優先されるケースが多いので見直しも必要なのかも。情報を適切に職員間に周知できていたがその先は担当が一人で			
	保健体育部	体育的活動の充実	体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図る	3	減っている。増やすのが。	3.1
		保健衛生面の充実	生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図る	2.9	保健室狭い。	2.9
		保健体育部活動全体について成果と課題	保健室充実している。救急車の手配など対応が早く良いと思う。			
	生徒会	生徒会活動の充実	生徒会の役割、運営等を把握整理し、生徒会活動がより主体的かつ効果的になるよう充実を図る	3.4	負担大きいが生徒頑張っている。	3.1
		生徒会組織の充実と委員会活動の活性化	生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図る	3.3	連携ができてきた。	3
		生徒会活動全体について成果と課題	活性化は十分であるが、活性化からこだわりが変わってきているところが心配である。生徒の自主性は大切であるが、教員側からのプラン、マネジメントが無いため、効率的な行動となっていない。よく動いているが昨年よりも活動する時間が短くなったので、内容も全てに全力で行うには厳しいので見直す必要があるのではと感じる。頑張りすぎなくらい頑張っている。バラつきがある。生徒会のまとまりのために担当教員は動くべき。計画、実施、振り返り等本当によくやっている。よく頑張っている。連携面が良くなるともっとよくなる。生徒会の負担軽減を図る措置が必要。			
	看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成する	実習や各授業において学生が意識を高め、達成感や課題解決学習に取り組む態度を育てる教育活動の充実を図る	3.1	留年する学生がいるのが。高校との連携課題。臨床をイメージしやすい授業になるように工夫した。実習では自らが学ぶ姿勢、看護につなげられるよう意識し指導できた。	3
			国家試験全員合格へ向け、計画的、合理的学習の充実を確立する	3.4	国試合格100%目指し夜間学習頑張っている。計画的にできている。	3.3
		看護専攻科全体について成果と課題	実習等よくやっている。個別指導が必要な学生にも丁寧に寄り添って指導されているので個々の成長に繋がっている。教員間の意思の疎通がうまくいかないことが多い。感情のぶつけ合いのトラブルが多い。仕事の質・量で差がありすぎ。校務分掌も含め、見直して協力体制をつくるのが急務。5年一貫教育を意識し、高校との連携が少しずつできている。学生が落ち着いて学ぶ環境づくり、主体的に学ぶ指導の必要性を			
	事務部	経理・庶務・会計の充実	各項目における経理・会計の正確かつ明確化を図る	3.3	担当がしっかりしている。月次報告、中間報告、損益分析など出す。	3.1
		安心安全な食堂運営	安心安全かつバランスのとれた食事の提供を図る	3.1	チームとしてしっかりされている。美味しい。メニュー増はできないが、もう1品増やしてと保護者から。	2.9
		安心安全なスクールバス運営	計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図る	3.4	担当、運転手さんがしっかりされている。担当以外の事務職員もバス路線把握を。	2.9
		的確かつ合理的なスクールバスの運行を行う	3.3	赤字課題。違反やクレームがあるので注意を。	2.8	
安心安全な寮運営		寮生の実態把握を的確に行い、点呼体制、寮生活における規律体制の確立と、より豊かな生活が営めるよう充実を図る	2.8	寮監を中心にしっかりしている。安心・安全が大切。寮監のリーダー性を徹底する。	2.7	

		事務部全体について成果と課題	ダブルチェック体制づくりが課題。TELの対応に課題が、教育活動の基盤となる事務部運営に対して職員の意識が高まってきている。寮生減少に伴う収入減により、食堂・寮の運営が厳しくなっている。SB老朽化に伴う、修理費が多くなってきている。組織的不和を感じる。スクールバスの購入は経費がかかりますが、故障が少なくなり、安全運転ができています。雰囲気は温かくなった。車いすスクールバス通学生徒への対応が親切かつ丁寧ですばらしく良かった。部内での連携に課題があった。情報共有することで、業務の緊急性と重要性を把握し効率を上げていきたい。ミスしてはならない重要な部であるが担当業務だけになっているので、校務分掌、主査、副査を明確に話し合う機会を作り誰でも対応できる事務部を作るべき。昨年初めてジョブローテーションを行い合理化がすすめられた。ダブルチェックや目的を見据えた業務が必要。ホームページに告知するなど工夫が必要。			
評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H30
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立	生徒の進路希望や学力等の的確な把握と指導を行い、計画的、体系的な指導を行う	2.9	希望と現実の格差がある場合の対応。早めの指導ができています。	2.8
		計画的かつ充実した進学指導の実施	計画的、より効果的に生徒の学習意欲と学力の向上を図る授業、課外、希望塾の実施	3	課外と希望塾の見直し。計画的に行え、難関大以外は推薦で対応できた。	2.8
		計画的かつ充実した就職指導の実施	計画的、より効果的に生徒の就職活動ができる環境を整え、学力の向上とキャリアプランニング活動の充実を図る	3	就職はよくなってきた。結果が出ており、より良い指導ができています。	2.8
		効果的な面接・小論文対策指導、公務員対策指導の確立	個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な指導を徹底する	2.9	山鹿市役所、消防合格。公務員課外の充実。小論文対策等国語科にのみ頼ることなくやれた。	2.7
	進路指導部全体について成果と課題	教員のスキルアップ・知識アップ・情報量習得が課題。難関大合格へ向けての早急な対策が必要。コース、学年により差異があり特にスポ科と1年生に対する指導に力を注ぐ必要がある。今年度も公務員現役合格(消防山鹿)。				

学校行事		評価	成果と反省と課題	H30
学校行事等について	体育大会 5月12日(土)	3.5	準備から片付けまで生徒が協力して行っている。また、朝早くからダンスの練習など行いすばらしい演技に仕上がっていた。すばらしかった。準備期間少ない中ではほぼ時間通りに運営できた。今年度はGWが長かったこともあり、生徒が上手く動けなかったように感じた。練習で授業がほぼ行えず、テストの作問が難しいところもあった。もう少し保護者が盛り上がる競技があってもいいのでは。心に残る体育大会であった。特進からリーダーにチャレンジする生徒が出てよかった。生徒の姿に感動。短い時間で感動的な体育大会であった。生徒会の負担が大きかった。生徒はとてもし懸命やっつけて気持ちが良いが、生徒が考えた生徒主体の体育大会という感じはうすい。	3.5
	1学年宿泊研修 9月12日(水)～14日(金)	3.5	集団行動のルールを学び仲間の大切さを感じる研修であった。様々な課題はあったが、全職員で生徒と関わり生徒の特性と向き合えたことは成果であった。研修の目的を生徒達が良く理解し協力したり団結する姿があり有意義だった。指導が大変であったが、得られるものは大きかった。時期の見直し必要。1日でもいいのでは。学年の職員全員が役割を果たすことができ連携した指導体制がとれた。	3.4
	学園祭 11月2日(金)～3日(土)	3.5	発表をする生徒支える生徒それぞれが伸び伸びと表現できていた。すばらしかった。例年よりゆったりとした進行で良かった。一般(保護者)用の当日券販売時間の検討の必要あり。生徒会がよく動いてくれたのが大きい。教員の配置、バザー、食券の販売には協力が必要である。生徒会のおかげで綿密なスケジュールの上、バザーも成功した。クス制作で団結高まった。ステージ・展示ともに充実していた。調理科の教師性ととも到大変努力している姿が見られた。クラス製作も協力し合う姿があり良かった。全体的にとても良かった。音楽選択者発表、ビブリア感動であった。展示部門は現状でいいのか。バザーに関しては1工程のみと限定がありやりにくい。3年部のみ忙し過ぎる感がある。クラス新聞も必要なのか。	3
	城北プレゼン フェスタbyTED スタイル 11月22日(木)	3.3	緊張の中で表現することの楽しさや難しさをうまく発表できており、それを見学する生徒達の態度もすばらしかった。すばらしいものだった。来年は学校だけでいいのか。発表を行う数名だけに指導を行いプレゼンさせるのでは全校生徒のプレゼン力は上がらないのではないか。発表内容も教員側が知らないままではフォローができない。生徒の発表はどれもすばらしく感動した。これから絶対に必要な力である。クラス全員の発表の時間確保が課題である。一般の参加もあり良かった。開催時期が審査前で検討が必要。補助金が今年で終わるが、とてもいい取り組みなので今後が心配。全校生徒で学ぶ機会となり皆に力をつけることができた。代表者はもちろんとてすばらしかった。プレゼン能力をつけることは重要と思うが一斉では定着が難しい。個性や特技・能力に応じて自分らしく自己表現できる力を養わせたいと感じる。ゴミが落ちていた場所があった。委員会と呼びかけては、クラスにおけるディスカッションの時間が少し短いのもう少しあると生徒度々牛での会話が広がると感じた。学年から担当者が出て職員の意識が昨年より高まった。全体的にとてもすばらしいイベントになった。	3.3
	修学旅行 12月8日(木)～12日(水)	3.5	いろいろとあったが、生徒たちは満足していた。計画が遅かった。短い期間で、意義ある修学旅行であった。インフルエンザ等々の対応が特に大変な様子であった。インフルエンザ対策でもう1週早めでは。	3

<p>その他学校行事・学科の行事、取り組み等について</p>	<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>全職員が協力して積極的に行事への取り組みを行っている。授業時数確保との問題。行事が増えていくことで、通常の授業が犠牲になり多くの教科で時数減少になっているのではないかと。様々な活動を行う中で生徒たちの生きる力、社会性等しっかりと身に付き成果として上がってきている。城北らしいここでしかできない教育を考えていきたい。学校行事による課外・補講の増加を改善しなければ。持ち教科数、授業時数に大きなバラつきがあるので校務分掌に影響がある。年間行事に入っていないものが入ってきて学科行事を変更せざるを得ないなど授業の組み立てに影響があった。各学科の特色づくりが年々良くなっている。職員間の温度差課題。行事の精選必要。行事が多すぎて振りまわされている感じがする。ピブリオ、TEDも時期や学年を限定するなど工夫が必要。学科行事が盛りだくさんなのはやりがいがあるが、時間に追われ余裕がない。</p>
<p>地域活性化プロジェクトについて</p>	<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>全校生徒による福祉施設や保育施設へのボランティア活動を行ったり調理科・福祉科・看護科、吹奏楽部やダンス部は地域の祭りへの参加をしている。今年度は地域とつながるイベントができた。来年度からもっとつながりを広げていけば良い。計画的、継続的に今後長く続けられるようなものに変えていきたい。部署をつくってほしい。ふれあいサロンの取組みはよかった。山鹿学を充実し地域に貢献できるプロジェクトを取り入れていきたい。地域との関わりを学科を超えて交流し、生徒の意欲向上につなげることができた。P科として動き出したことは評価。生徒の成長もあり成功であった。できることから動き出したのが良かった。様々な発想でできることから進めていくことが大切。本校の教育活動を知っていただくこと、地域へ貢献していくことが繋がることになり、大きな成果があった。各科ともとても良いアイデアが出されていた。実現するためにもう少し具現化した計画が必要。福祉課主任の取り組みがすばらしかった。地域の方々様々な年齢の方とのふれ合い、交流を深めることはとても豊かな感性を育むことができると思う。とても良い取り組み。福祉科を中心に普通科、調理科、看護科と連携して実施することができた。</p>
<p>働き方等改革について</p>	<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>労働時間調査のおかげで各自労働時間に対する意識が高まり、残業が減少している。仕事を持ち帰ることもある。どちらかという良いことだと思う。教員の意識や効率化は以前より成果として現れているが仕事量は確実に増えており、教員数、役割の見直しは必要ではないか。仕事量は多くなる中で、時間の制約があるのは厳しい。時間を区切るのにはありがたい反面、身体的精神的にきついことがある。19時までに仕事が終わらず学校内で業務が終えない現状がある。仕事の偏り、担任・副担の連携課題。19時放課、長期休業中の指定休感謝です。19時までに仕事を終わらせることができなかったことが多々あったので計画的にやる必要が。時間内で努力しているが、持ち帰りの仕事も増えた。職員の意識も変わってきており、成果も出てきている。学校全体の取組みで帰校時間が早くなってきている。消灯や節電の結果は出てきている。仕事のスリム化、分担化を進める必要がある。消灯、戸締り意識が高まり良かった。校務内容、役割分担の見直しも必要。19時終了の取組みがなされ働きやすくなった。一人ひとりが17時までに終了するような意識付けがさらに必要だと思う。仕事の段取りや効率を考えること、時間を有効に使いメリハリをつけ健康的に仕事をしていきたい。電話対応について、繋がる時間の固定化。(8時～17時 前後は音声流すなど)</p>

4 生徒による評価総括表 R元年度(2019)		当てはまる		まあまあ当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない	
		今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
1	学校の教育方針や教育に関する取り組みなどの情報は十分に伝えられている。	35%	25%	52%	55%	10%	17%	4%	2%
2	学校から配布される文書はわかりやすく丁寧な物になっている。	45%	41%	49%	51%	6%	7%	1%	1%
3	学校からの連絡は適切な時期・時点に行われている。	34%	29%	46%	44%	17%	23%	4%	3%
4	先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる。	32%	30%	48%	47%	18%	20%	4%	3%
5	先生方の対応は親切で誠意があると感じる。	39%	33%	46%	46%	13%	16%	4%	4%
6	先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる。	40%	36%	45%	44%	12%	16%	4%	4%
7	城北高校は学校行事が充実している。	35%	26%	40%	43%	18%	21%	7%	9%
8	城北高校では基本的な生活習慣や規範意識を身につける指導が適切に行われている。	47%	37%	45%	49%	7%	11%	2%	3%
9	城北高校では命や人権を尊重する指導・学習が適切に行われている。	47%	46%	45%	44%	7%	9%	2%	1%
10	城北高校では安心して学校生活を送ることができる。	47%	39%	41%	47%	10%	11%	3%	3%
11	城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている。	43%	35%	45%	47%	9%	13%	5%	5%
12	城北高校では健康と安全について適切な指導が行われている。	51%	47%	43%	44%	4%	7%	1%	1%
13	城北高校では進路について情報提供が適切になされている。	49%	45%	43%	42%	7%	11%	2%	1%
14	城北高校は教育に必要な施設や設備が整っている。	42%	30%	43%	47%	13%	17%	4%	5%
15	城北高校は他の学校にはない特色がある。	53%	46%	35%	34%	10%	15%	3%	5%
16	城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている。	42%	33%	48%	54%	8%	11%	3%	3%
17	就寝、起床、食事など規則正しい生活をしている。	43%	40%	37%	39%	16%	17%	4%	4%
18	学校を欠席、遅刻しないように日頃から心がけている。	75%	66%	21%	28%	4%	4%	1%	2%
19	先生や友人に毎日あいさつをしている。	69%	64%	28%	31%	4%	5%	1%	1%
20	希望手帳を有効に活用している。	22%	21%	33%	33%	30%	31%	15%	15%
21	心の掃除に意欲的に取り組んでいる。	37%	33%	49%	50%	12%	14%	2%	2%
22	家庭学習(予習・復習・自学)の時間を十分確保し取り組んでいる。	16%	15%	42%	36%	31%	34%	12%	15%
23	学校の授業内容を理解している。	19%	14%	55%	51%	21%	28%	5%	6%
24	特別活動(学校行事・生徒会活動・部活動など)に積極的に参加している。	42%	42%	38%	37%	15%	15%	5%	6%
25	学校の施設、公共物を大切にしている。	75%	70%	24%	28%	1%	2%	1%	1%
26	自分の将来に夢や希望を持っている。	50%	49%	34%	34%	12%	12%	4%	4%
27	明るく生き生きと学校生活を送ることができている。	47%	43%	40%	41%	10%	11%	3%	4%
28	城北高校に入学して良かったと思っている。	36%	33%	42%	40%	15%	16%	8%	11%

5 保護者による評価総括表（令和元年度）

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項目	R元年度 評価（％）	H30年度 評価（％）
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4(26.4) 3(67.0) 2(6.4) 1(0.2)	4(24.3) 3(67.8) 2(7.4) 1(0.4)
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4(42.0) 3(53.0) 2(5.0) 1(0.0)	4(35.3) 3(55.3) 2(8.8) 1(0.6)
3	城北高校の授業は、生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している。	4(28.0) 3(62.7) 2(8.7) 1(0.6)	4(24.9) 3(61.4) 2(12.7) 1(1.0)
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4(37.4) 3(55.2) 2(7.4) 1(0.0)	4(38.6) 3(52.3) 2(7.9) 1(1.2)
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4(40.7) 3(52.5) 2(6.8) 1(0.0)	4(42.5) 3(50.) 2(6.3) 1(1.0)
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4(34.4) 3(55.3) 2(9.1) 1(1.2)	4(35.0) 3(52.0) 2(10.7) 1(2.2)
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4(54.9) 3(42.2) 2(2.9) 1(0.0)	4(53.6) 3(43.0) 2(2.6) 1(0.8)
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4(48.1) 3(47.3) 2(4.3) 1(0.4)	4(46.2) 3(47.3) 2(5.7) 1(0.8)
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4(33.4) 3(60.2) 2(6.2) 1(0.2)	4(31.8) 3(61.9) 2(5.7) 1(0.6)
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4(31.7) 3(59.5) 2(8.6) 1(0.2)	4(33.2) 3(57.9) 2(8.1) 1(0.8)
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4(53.8) 3(41.7) 2(4.5) 1(0.0)	4(48.1) 3(48.7) 2(2.8) 1(0.4)
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4(41.2) 3(52.8) 2(5.8) 1(0.2)	4(37.4) 3(54.1) 2(7.9) 1(0.6)
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4(36.0) 3(53.0) 2(10.6) 1(0.4)	4(34.6) 3(52.7) 2(11.1) 1(1.6)
14	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4(38.8) 3(55.4) 2(5.6) 1(0.2)	4(37.6) 3(54.3) 2(6.4) 1(1.6)
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4(57.2) 3(38.1) 2(4.3) 1(0.4)	4(56.8) 3(36.0) 2(5.9) 1(1.4)

6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価

4: そう思う 3: まあまあそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

1 学校経営全般について	
項 目	評価 (10人中)
(1) 学校の経営方針や本年度の努力目標は、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	4(2) 3(8) 2(0) 1(0)
(2) 学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	4(4) 3(5) 2(1) 1(0)
(3) 学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	4(0) 3(9) 2(1) 1(0)
(4) 学校は、各学科コースの特色を生かした教育課程と、その教育指導実践を行なっている。	4(2) 3(8) 2(0) 1(0)
2 自己評価について	
(1) アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	4(2) 3(8) 2(0) 1(0)
(2) アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	4(3) 3(7) 2(0) 1(0)
(3) 学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	4(4) 3(5) 2(1) 1(0)
(4) 評価項目の大項目について	
①『学校経営』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(3) 3(7) 2(0) 1(0)
②『学力向上』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(4) 3(5) 2(1) 1(0)
③『生徒指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(3) 3(7) 2(0) 1(0)
④『進路指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(4) 3(6) 2(0) 1(0)
⑤『人権教育の推進』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(3) 3(7) 2(0) 1(0)
⑥『特別活動』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(5) 3(5) 2(0) 1(0)

①～⑥における御意見 ○先生方の成果と課題が明確化されており、わかりやすくとても良いと思った。課題が成果になるよう城北高校のより良い発展を願います。○目標にしている進路へ合格できるように職員の先生方の努力がわかる。就職や大学への合格者が増加傾向にあると思う。○成果と課題が良く分析されている。来年度へ向けて具現化してほしい。○ほぼ客観的に評価と課題の抽出及び分析はなされている。しかし具体的方策が目標レベルのものもあるため、実践していくにはもっと詳細な方策を定める必要がある。記述内容からすると現在の「具体的目標」を「評価指標」や「重点目標」などとして、「具体的方策」を「具体的目標」としたほうが良いのでは。○一年間を振り返り自己分析を続けておられることとても良いと思います。毎年毎年良くなれば良いのですが、生徒の状況は変わりますので大変ですが、よく頑張っておられるように見えます。○以前と比べてみてとても良くなっているようでうれしく思う。

⑦大項目『各部及び専攻科』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。 4(4) 3(6) 2(0) 1(0)

⑦における御意見○スポーツ科学コースの授業時間が少ないので大学等進学対象者には学習レベルで課題がある。卒部後の学習が課題。もう少しレベルアップを図るべき。○服装検査における課題、見直し検討を。○城北高校に入学したすべての学生が自分なりの課題を見つけ学生主体の教育に教員の先生がその基盤を作って下さっているので感謝します。様々な資格取得についても優秀な成績を修めていると思われます。○成果と課題が良く分析されている。来年度へ向けて具現化してほしい。○具体的方策の書き方としては相応しくないであろうと思われるところがある。○いろいろと考えられた上で、対策を考えておられると感じました。いつになっても問題が無くなることはありませんが、真摯に向き合い続けること、諦めずにやって頂きたいと思います。○評価数が上がっているのはとても良いことですが各科において時間がもっととれるのであれば職場体験など課外授業を増やすのも良いと思います。

⑧『学校行事等』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。 4(3) 3(7) 2(0) 1(0)

⑧における御意見○体育大会・学園祭に毎年参加させていただいた。生徒たちの発表はすばらしく、感動している。○働き方改革の成果と課題は同感する内容である。○学生主体の行事で生徒たちのやりがいを感じることが出来ます。課題をクリアすることで益々良い学校行事ができると思います。○保護者の方や一般の方々もたくさん観覧に来られているので観覧できる場所をもう少し広げてもらえたらと思う。○概ね高評価で良いと思う。○例年どおり全体的に評価点が高い項目である。次回の行事開催時期ではなく、その行事が終わった時点で、問題点や改善案などを話し合っておき、次回開催に役立ててほしい。○学校行事で生徒会が主体的に動いている行事がいくつかあるようですが負担が大きすぎるように感じています。頑張ることは達成感もあり良い体験でしょうが時間がとられすぎているように見えています。○学校行事が多すぎても少なすぎてもためである。無理のないよう頑張してほしい。行事で良き思い出づくりを。

3 生徒による評価について
『生徒による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。 4(4) 3(6) 2(0) 1(0)

『生徒による評価』における御意見○ほぼ当てはまるとまあまあ当てはまるの%数が多い中で22, 23番が低いのは気になる。わが子もそうであるが、部活動生、特にスポーツ科学コースの生徒は疲れがひどく正直な回答ではないか。低い%のところは家庭からと学校側で対策を練る必要がある。○すべての評価において70%～80%が良い評価に回答されていることから、本校の特色を生かしながら指導等ができていていると感じる。○挨拶の事について、学校に行くと生徒に会うと運動部の子たちは元気の良い挨拶をしてくれるが、その他の子はこちらから挨拶しても返ってこない時にはすごく残念に思う。学習面での課題が顕著である。18,19,25が高評価なことは学校の特色が出ていて良いと思う。○「当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計が8割程度になるよう平均すると評価点は高いようだ。「希望手帳」と「家庭学習」については改善しているが評価は低めの状態が続いている。数値的にはこれより高いが、「授業内容を理解している」と「入学してよかったと思っている」を低く評価している生徒が多いのは問題だと思われる。○指導や指導内容が保護者には見えないので生徒が④③で評価しているのを見て安心しました。家庭学習する習慣をどうにか考えてほしいと今年も思いました。○全体の評価%が上がっていることはとてもすばらしい。さらに上を目指して努力してほしい。

4 保護者における評価について
『保護者による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。 4(5) 3(5) 2(0) 1(0)

『保護者による評価』における御意見○3, 4の評価が高いことはとても良いと思う。生徒と同様に保護者においても評価が高いです。高校時代をいかに過ごすかで将来の目標等が明確になる時期と思う。保護者の期待度も高いと思うが、やって良かったと思える高校になっていると思う。○城北高校は先生も掃除をして下さっているので校内はきれいである。寮生活の中で親がなかなか話を聞くことができないので、様子がおかしい時など話を聞いてもらえたらと思う。○1, 13, 14の評価が比較的低めとなっているところが課題でしょうか。学校外(保護者、地域等)との交流の機会を増やす試みをお願いしたい。○高評価が9割程度を占めており全体的に良好である。こちらも最後の項目である「入学させて良かったと思っている」の低評価が約5%いることが気になる。出されている意見に可能なものから対応し、よりよい学校づくりを目指してほしい。○城北に入学させて良かったと思っておられる方が高い割合おられるということは自分の子どもを見てそう感じられたということ。よい子どもに成長していると感じておられることに、こちらもうれしくなりました。保護者の方も良い評価%が上がっているようですね。すばらしいこと。保護者とのコミュニケーションを大切にもらえるよう願っています。

3 その他御意見

○保護者による評価アンケートは学校行事等で学校に出向いたり参加したりしないと評価は難しいと思った。大体こんなものだろうと評価されている方も多いのでは。保護者によるご意見や感想は子どもからよく話を聞かれて家族で学校の会話をされている結果だと思えます。貴重な意見の中でも同じ内容が多いことから少しずつ改善して頂けたらより良い学校になっていくと思う。初めてPTAの役員をさせてもらい、いい経験をさせてもらった。実際は先生方が考え動いて下さり感謝しかない。○城北高校の寮で自立心もでき、良き先輩、良き仲間に出会って楽しい高校生活を送れたのではないかと思います。○子どもが城北高校で学べてよかったと思っている。これからも城北カラーを生かして学校運営に邁進して頂きたいと思う。○全体的には高評価よりで安心している。働き方改革の欄等に記載されている先生方の意見にもあるが、学校行事、学習環境ともにより高みを目指せば、その満足度に比例して、疲弊感が増したり、時間的な余裕がなくなったりするものであるため、バランスは難しいと思う。また、様々な学科があり、生徒間にも格差があるため指導なども一律にできないであろうからより一層である。そんな中、先生方の頑張りは、学校に近い(役員や行事に頻繁に参加するような)人ほどより認識していると思うので、授業参観や各種行事などへの参加を促すことも評価が上がる手立てになるのではないかと思います。○世の中では働き方改革をつきつけられ、どこも大変ですね。本気でやってゆくなれば思い切って何かを切り捨てる勇気が必要でしょう。先生方により負担にも差があると思いますが、能力ややる気にまず差がありますからね。生徒達にはきつと頑張っておられる先生の姿は見えていると思います。未来の日本を支える大切な子どもたちを今まで通り愛情をもってご指導お願いいたします。○年々評価が良くなっているようで安心しました。これも先生方の努力と熱意が伝わっているからではないでしょうか。大変ですが、一人でも多くの良き生徒が社会へ巣立って行くことを願っています。最後に、もう少し厳しさがあっても良いのではと感じています。

7、総合評価

生徒の実態を具体的かつ詳細に把握するため、昨年度より生徒へのアンケートの内容を変え、項目を増やし実施している。学期ごとに統計を出すことにより、昨年度統計や前の学期と比較しながら生徒の状況や実態を把握し、指導等に生かしていくことができるため、今後もこの形を続けていきたい。また、昨年は年2回のアンケート実施であったが、今年は毎学期末に3回実施する計画で進めてきた。3学期途中から新型コロナ感染対策により休校になったため、結局は2回の実施という形になったが、次年度も学期ごとに生徒の状況、実態をより把握し、本校教育へ生かしていくことができるよう、年3回の実施で計画していきたい。

生徒の学校生活に対する率直な意見が最も反映されていると思われる「10 城北高校では安心して学校生活を送ることができている」「11 城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている」「27 明るく生き生きと学校生活を送ることができている」という項目においては、昨年より3項目ともに「当てはまる」の数値が非常に高くなっており、「まあまあ当てはまる」も合わせると、全体の87～88%の生徒が実感として捉えていることになる。校内の学校生活において、明朗快活に活動している生徒が多く、全体的に自主的に活動できる生徒が増えてきている現状がある。その一方で、全体としての数値は低いが、そう思っていない生徒達にどれだけ私たち教員が目をつけているのか、より添えているのかというところが課題となり、今後の具体的指導実践としていかなければならない。毎年課題として低い数値となっているのが、生徒の学習状況である。「22 家庭学習（予習・復習・自学）の時間を十分確保し取り組んでいる」「23 学校の授業内容を理解している」の数値は昨年データよりも上昇しているが、相変わらず低い数値のままである。今年度の具体的目標の（1）に「わかる授業の追求と実践」を挙げて取り組んできたが、教師一人ひとりが再度この結果をしっかりと受けとめ、更に授業内容の改善を図り「よりわかる授業の追求と実践」を意識し行っていく必要がある。また、生徒一人ひとりに書く習慣をつけさせ、自らのポートフォリオとしての活用のための希望手帳の活用、利用状況も早急に改善を図る必要がある。今年度の目標の各項目に希望手帳の活用を入れてきたが、日々の生活の中でより具体的に活用方法をクラス、教科等で取り組まなければ改善を図ることはできない。常に教師、生徒自身が意識して具体的活用を図る必要がある。

今年度の保護者アンケートについては、過去最高のアンケート回収率であった(75%)。本校に対する期待と信頼度の高さとして受け取ると同時に、保護者の率直な声として、職員で共有し、教育活動に生かして改善を図っていかねばならない。4段階の評価で1（全くそう思わない）の評価をつけられた保護者が一人もいなかった項目が5項目あったことについては教職員としてはとても嬉しいことであった。過去、アンケートを取り始めてから0%という結果はほぼなかったが、今年度は5項目もあったということは、少しずつではあるが、信頼度が上がってきている状況にあると受け取れる。しかし、その結果に甘んじることなく、全ての項目の保護者の満足度を上げる教育活動を職員一丸となって取り組みたい。「15 城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている」という項目について、昨年より若干数値が上がっている結果（4:そう思う 57.2%、3:どちらとえばそう思う 38.1%）も嬉しいことである。日頃からの生徒・保護者との関わりがこの結果の根本にあるという認識のもと、今年度を振り返り、現状の課題を明らかにしながら改善していくことを職員で確認したい。

今年度の様々な反省と課題を教職員一人ひとりが自問自答し、心を磨き育てる教育を中心に据えて日々の教育活動を実践していくことが大切である。生徒を中心に据え、授業をはじめ様々な教育活動の目的を明確化し、その中における楽しさや充実感等を感じさせる取り組みを考察し実践行動していく。生徒自らより自主的・主体的に何事にも取り組む生徒の育成を目指したい。本校教育の根幹を全職員で意識しベクトルをそろえ実践していくことが課題改善、更なる向上へとつながることである。

8、2020年度(令和2年度)教育目標

学校法人 松浦学園 城北高等学校

2020年度 教育目標

建学の精神 『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- 1 「心を磨き育てる教育」の確立。教育活動全体において「この坂を上れば希望がある」「自分のことより先ず人のことを思え」の理念を基盤とした教育の具現化と実践を図る。すべての教育活動の中で強い心と美しい心をつくることを意識した教育を展開し、人権感覚を磨き、あらゆる差別を許さない心を育む教育を実践する。
生徒を認め、励まし、伸ばす教育の実践で、一人ひとりの生徒の居場所をつくる。心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育、希望手帳の効果的活用。いじめをしない、させない、許さない教育の実践。(クラス、授業、部活動等連携指導)また、「SDGs」を理解し、自ら主体的に実行し得る生徒の育成を図る。
- 2 「わかる授業」の追求と実践。授業の質を向上させるための教科内における積極的な対話、研修と研究を積み、授業のねらいの明確化を図り、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ姿勢」「学ぶ習慣」をつくる教育を実践していく。また、ディスカッション力やプレゼンテーション力の向上を目指した授業の展開を創意工夫し、実践する。「本を語る学校」として、すみれ文庫を活用した教育活動と教科指導を工夫する。
授業研究と公開授業の実施。アクティブラーニング、チーム課題解決型学習、ICTを活用した授業等、生徒の興味関心を高める工夫と創造された授業の展開。知ること、学ぶことの楽しさを味わわせ、主体的・対話的で深い学びの実践から「読解力」「想像力」「表現力」の向上へ。
- 3 「計画的かつ系統的な進路指導」の確立。個々の生徒の進路希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育の実践。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの目標設定と系統的かつ具体化した指導の実践。
授業・課外の充実、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、希望手帳の記入の習慣化により、書く習慣づくりとポートフォリオづくりの確立。また、思考力・判断力・表現力を意識した小論文指導と面接指導。
- 4 「効果的かつ充実した学校教育活動と学校行事」の実践。生徒が主体的に活動し、輝く教育活動が実践できるよう各種学校教育、行事等の検討と内容改善を図る。
学校行事、各校務部行事、学科コース、生徒会行事等の精選と内容充実活動の実施。地域活性化プロジェクト、体育大会、オープンキャンパス、学園祭、プレゼンフェスタ、山鹿学、総合的な探究の時間の活用等、内容の充実と実践を図る。